

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・例年ではお盆を過ぎると非常に涼しくなって客数、売上共に落ちる傾向だが、今年の夏は猛暑が続き、9月になってもまだ非常に暑く、冷たい物を中心に販売量が増えている。
(北関東)	やや良く なっている	スーパー（店長）	販売量の動き	・8月は総じて天候が良く、盛夏商材の動きが良い。加えて気温の高い日がお盆後も続き、涼味商材群が最盛期と同等に売れ、この分がプラスになっている。夏向け商材の値下げも少なく済むので利益も出る。
		スーパー（経営企画担当）	販売量の動き	・猛暑もあって、飲料やアイスの販売量が増え、全体的に販売点数が伸びている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・3か月前と比べると売上が116%、客数が115%。前年比では売上が100%、客数が104%と、やや好調である。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・今月は雨が少なく天候が良かったため、客足の伸びにつながり、売上も前年比105%となっている。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・晴天が続いたために夏物の動きが比較的良く、前年比で買上客数は18%増、売上は14%増と共に増加している。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・今月に入って幾らか調子が良い。短期的なものかもしれないが、前年よりも良いようである。理由は分からないが、このままいって欲しい。
		旅行代理店（所長）	お客様の様子	・夏季シーズンということもあり、地区により違いはあるものの、入込は良い。天候に恵まれたこともある。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・夏の旅行シーズンを迎え、個人や家族旅行の需要が増えている。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・東日本大震災があった前年よりは増加している。前々年と比べると減少しているが、減少率が少しずつ回復している。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・住宅の販売は、消費税増税の問題が取り沙汰されていることから、多少上向いている。アパート、店舗部門の契約は引き続き好調で、下期の売上の確保もできている。
変わらない		商店街（代表者）	競争相手の様子	・このごろは学校指定の物ならいいが、それ以外の物はやはり大型店へ皆行ってしまう。昔と違って小売店は学校指定以外の物はあまり売れなくなったため、競争相手は大型店ということを感じている。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・地元や各地で納涼祭や花火大会が開催され、暑さにも負けず大勢の人が集まってきていたが、平日は今年の猛暑には勝てず、街中が静かである。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・猛暑が続きエアコン、冷蔵庫等が順調に伸びている。太陽光も予定どおり進んでいる。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・厳しい残暑が続いているが、ここまでくると季節商材の動きはない。夏のボーナスも期待するほどではないようで、家電製品の購入には至らなかった。しかし、省エネ、エコに関心を示す消費者も増えてきているので、単価アップにはつながりそうな様子が見られる。
		百貨店（総務担当）	来客数の動き	・今月は暑くて開店から10～11時、中抜けで5時から閉店間際の客が多い。遊びで来る客ではなく、暑さ対策品の白の帽子、日傘、着替え用の下着、ブラウスの着替え等、景気とあまり関係ない商品が売れ、客数や単価、量など動向が感じられない月である。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・平日の来客が多くなっている。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・消費者の買い方が非常に慎重で、余計な物は買わず、じっくり選んでいる様子が見られる。
		百貨店（店長）	販売量の動き	・景気の不透明感は相変わらずで、必要な物を絞って買う傾向が強くなっている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・数か月単価の変化はない。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・来客数は前年並みの状況であり、景気の底から抜けられず、悪い状況が継続している状態である。

スーパー（統括）	販売量の動き	・連日の猛暑で食品は冷飲料、アイス、麺類などの盛夏商材が動きを盛り返したものの、衣料品はバーゲン期に入っている。冷却商材や機能性肌着など盛夏物の動向は、前年購入しているの追加程度にとどまり、全体としては前年を割り込んだ動きとなっている。
衣料品専門店（販売担当）	お客様の様子	・3か月前と比べて客が若干動き出している雰囲気はあるが、1か月トータルではほとんど変わっていない印象である。そのようななかでも、単価が低ければある程度購買意欲を後押しでき、買物に動く客が若干増えてきているが、まとめ買いなど客単価が高くなるような雰囲気はないため、トータルではほとんど変わっていない。
家電量販店（店長）	販売量の動き	・前年のアナログ放送終了時のテレビ特需の反動減の影響は少なくなったが、前年比5割の進捗で、依然として厳しい。
乗用車販売店（販売担当）	単価の動き	・今月に入り、お盆休みということもあって新車等の注文が極端に少ない。その代わり単価の安い中古車の販売台数が伸びており、全体の売上で見ればほぼ例年並みで、2、3か月前と同じくらいの売上がある。とにかく高額な車両が売れていない。
住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・前年同月比では7月よりは改善傾向だが、それでも前年を割り込んでいる。特に土日の客数低下が著しい。
住関連専門店（統括）	販売量の動き	・お盆以降、来客数は伸びているが、買上客数に減少が見られる。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・特に良くなっているわけではないが、前年並みの売上を維持している。ただし、同業者間では売上のある店、ない店がはっきりしている。
観光型ホテル（営業担当）	単価の動き	・トップシーズンのため来客数は多いものの、飲食や売店売上がその割にはない。
都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・非常に厳しい時代になってきており、客は食事でも会食でも単価に非常に敏感になってきている。以前と比べて非常に格安の物を選ぶようになってきている。
旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・猛暑のため、旅行関係の客足は鈍っている。
旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・原油価格の高騰による影響が続いている。
旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・客の動きや受注状況を見ると、良くも悪くもない。海外旅行の声が少し出始めてきており、秋以降の受注に期待したい。
旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・国内、世界の情勢を含め、やはりまだまだ自粛ムードがある。
通信会社（販売担当）	販売量の動き	・携帯電話業界はスマートフォン販売の好調を維持しているが、前年比、前月比ではあまり変わっていない。
通信会社（営業担当）	来客数の動き	・夏休みで旅行や帰省の出費があり、来月以降は消費が控えめになる可能性がある。
通信会社（局長）	販売量の動き	・販売数量は前年比ほぼ100%であり、3か月前と比較しても気候的要因を除くとほぼ変化がない。
ゴルフ場（副支配人）	来客数の動き	・主な要因は、周りのゴルフ場が民事再生法の適用等により、非常に低価格の料金でプレイさせていることである。また、来年、再来年あたりにまた消費税増税の話が出ているため、先行きは少し不透明である。
競輪場（職員）	お客様の様子	・来場者数、買上単価共、それほど変化が見られない。
その他サービス〔清掃〕（所長）	それ以外	・前月に引き続き夏季休暇で連続休暇取得者もおり、旅行等に出かけている。しかし、節約モードで遠出はしていないため、大きな変化はない。
設計事務所（経営者）	お客様の様子	・仕事量が少なく、計画の依頼も少ない。
設計事務所（所長）	競争相手の様子	・建設関連業種の景気の悪化は近年に始まったことではなく、既に10年、20年の年月が経過している。景気が好転している他業種もあるが、建設関連業種は相変わらず低迷し、好転の兆しささえ見えない。同業者というより関連業界全体としての景気の判断は、3か月前と比べて良くなっているとはとても思えない。
住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・今年も都会は猛暑続きで、別荘を訪れる避暑客は例年並みである。

	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・ 今月は物件の引き合いがちらほらあったが、値段をかなり下げて契約に至ったというケースがある。デフレで何でも値切るといのが今、慣習のようになってきている。家賃、駐車場、土地の価格でも値切られるということが常識のような感じがする。ただし、物件が安ければ動きが多少があるという実感は持っている。
	住宅販売会社 (経営者)	販売量の動き	・ 4、5月から顧客の動き及び販売量は停滞している。デフレが深刻で地価が横ばいであるにもかかわらず、下落傾向に感じられることが待ちの状態を作っているようである。消費税増税では逆効果な気がしており、地価が上がるような起爆剤を願う事業所は多い。
やや悪くなっている	商店街 (代表者)	来客数の動き	・ 猛暑は中高年にとって大きな障害となるようで、恒例の催し物にも常連客が少なかった。日中の人通りは全く無い状況である。
	商店街 (代表者)	お客様の様子	・ 夏祭りで店先に商品を出しても、なかなか売れない。客は来るが、物を買わない。しかし、夜遅くまで暑かったせいかビール等は空前の売上である。買物が変わってきたことは事実である。
	商店街 (代表者)	来客数の動き	・ 雨が降らず暑さが続いたため、熱中症の心配もあって商店街には人が歩いておらず、特に高齢者が少ない。高齢客から数件だが、自宅に集配の電話があった。前年にはなかったことである。
	商店街 (代表者)	お客様の様子	・ 観光客の少なさを感じている。暑さのためか日中の人通りが少なく、客単価の減少と合わせて大打撃である。
	百貨店 (販売促進担当)	来客数の動き	・ 暑さが厳しく熱中症の危険性などが報道されるなかで、来客数の伸び率が3か月前と比べると悪化している。
	百貨店 (販売促進担当)	販売量の動き	・ 猛暑日が継続し、外出を控えているようである。特に来客数と連動する傾向にある食料品全般が苦戦している。また、ファッション衣料においては、晩夏、初秋商材の動きが鈍い。
	百貨店 (販売担当)	来客数の動き	・ 近くの商業施設が増床オープンし、その影響で来客数減になっている。
	コンビニ (経営者)	販売量の動き	・ 3か月前に近所に新店出した同業他社の影響はあると思うが、日用品の販売が前年比約95%である。客の動向としては買い控え、不要な物は買わないなどの気遣いが感じられる。
	コンビニ (店長)	来客数の動き	・ 同業他社が立て続けに出てきている。また今月オープンの店があり、良くない。
	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・ エコカー補助金を利用して、前倒しで新車を購入した客も多く、その反動で今月は非常に厳しい状況となっている。
	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・ エコカー補助金の終了が7月末に予想されるような報道等で早めに購入に動いたためである。
	乗用車販売店 (従業員)	お客様の様子	・ 8月は取扱っている業界が全体的に良くない月である。受注の話は減少してきている。
	乗用車販売店 (販売担当)	来客数の動き	・ 今月はお盆のためかもしれないが、展示会をしても来客数そのものが前年や3か月前と比べると少ない。エコカー補助金でにぎわっていたが、その効果もだんだん薄れてきて、悪くなっている。
	乗用車販売店 (管理担当)	販売量の動き	・ エコカー補助金効果による販売は、景気や消費の低迷によって伸び悩む。
自動車備品販売店 (経営者)	販売量の動き	・ 8月に入った途端、顧客の動きや車を買う話が少なくなっている。	
高級レストラン (店長)	来客数の動き	・ 平日のランチに会社員がほとんど金を使わない。近隣のスーパーでは150円の弁当が出るようになり、低価格競争が激化している。	
一般レストラン (経営者)	単価の動き	・ 客数はほぼ毎月変わらないが、客単価が少し落ちている。	
一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・ 毎年夏は悪くなるが、今年は猛暑の影響か、前年実績をクリアするのがやっとである。	
都市型ホテル (支配人)	お客様の様子	・ 当地域の場合、福島第一原子力発電所の事故による風評被害が依然として続き、海水浴客が通年の4割程度しか来ない。行楽客及び外国人客は激減したままである。しばらくこの状態が続くため、景気は良くならない。	

		都市型ホテル (営業担当)	単価の動き	・当社は駅前であり、料金もビジネス系である。今年になってから少し上のクラスのホテルが駅前にできた。単価、宿泊料が少し高めであったが、やはり下げざるを得ない状況が見られ、厳しいようである。少し高い料金だと、客がなかなか入らない。
		タクシー運転手 タクシー(経営者)	来客数の動き お客様の様子	・飲食における客数が減少している。 ・不景気のためか昼も夜も人の動きが悪く、前年同月と比べて12%の減少である。
		通信会社(営業担当)	お客様の様子	・近隣でも、特に製造業の業績が落ち込んでいるようである。来月閉鎖を予定している下請会社や、大幅に社員を削った会社などが目立ち始めている。
		遊園地(職員)	来客数の動き	・上旬から中旬にかけての集客減が響き、お盆中盤より回復基調にはあるものの、前年実績を下回る見込みである。
		ゴルフ練習場 (経営者)	来客数の動き	・暑い日が続いているため、客が街中を歩かない。
		ゴルフ場(支配人)	来客数の動き	・年配の来場客が多かった平日に猛暑が続き、減少傾向である。体調管理のためソフトドリンクはよく売れるが、オリジナルドリンクの持ち込みも多い。
		ゴルフ場(業務担当)	来客数の動き	・極端にプレー料金、単価が影響している。
		美容室(経営者)	来客数の動き	・来客数については、いつもはお盆前が忙しいが、今年はお盆後が忙しかった状態である。売上は前年よりあまり良くない。全体的には電気の節約に倣って美容も節約する人が増えてきた。つくづく景気が悪く感じられると客も言っている。
		美容室(経営者)	来客数の動き	・暑い日中に客は来店せず、売上が悪い日が続き、今月は前年比7%減である。
		その他サービス [立体駐車場] (従業員)	お客様の様子	・周辺に同じ規模の駐車場が3か所ほどあり、400台ほど駐車できる。商業施設に付帯している所もあるが金額を下げており、安い単価の所から順に埋まってくる状況が顕著になってきている。そのため、来客数や単価が下がってきており、全体的にやや悪くなっている。
		設計事務所(所長)	販売量の動き	・今月は夏休みとあまりの暑さからか、仕事の情報が皆無で困っている。
	悪くなっている	一般小売店[衣料] (経営者)	販売量の動き	・学校関係の店であるため、夏休み中は結構少なかったが、学校が8月27日から始まり、多少増えてきたようである。当市内の観光客の様子は、良くないという状況は1つも出てきていない。
		スーパー(経営者)	お客様の様子	・業界全体で購買意欲がかなり低下してきている。
		スナック(経営者)	競争相手の様子	・長く当調査に協力しているが、本当に毎回同じ答えになる。すべての選択肢を選びたいが、とにかく競争相手がすごく、消費者が少ないような状況である。
		通信会社(経営者)	販売量の動き	・一般ユーザーからの引き合いは一切ない。行政外郭団体からの見積り要請はあるが、どれも今年度後期の事業につき、直接の売上には至っていない。
		その他レジャー施設 [アミューズメント] (職員)	来客数の動き	・インターネットカフェ、ゲーム機コーナー、レンタル関係、すべてで客数、単価共に落ちている。特に自分の番号、成績等を取付できるインターネットゲームのようなものの得意客はそれほど減っていないが、今日はゲーム、今日はネットカフェ、というようなフリーの客数が極端に減っている。夏休み、8月中の売上としてはかなり良くない数字が出ている。
企業 動向 関連 (北関東)	良くなっている	その他製造業 [環境機器] (経営者)	受注量や販売量の動き	・原子力発電反対がますます増えるなか、当社の10月決算に間に合うよう、太陽光発電の申請と設備の準備をしている。
	やや良くなっている	化学工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・東日本大震災の復興需要が大きく影響し、メイン商品の生産、販売が好調に推移し始めている。
		金融業(経営企画担当)	受注価格や販売価格の動き	・ホテルや飲食、小売業が好調なことに加え、製造業も自動車関連を中心に受注が増えている。
	変わらない	食料品製造業 (営業統括)	受注量や販売量の動き	・前月に引き続き、35度以上の猛暑が続いた影響で、ワインの消費は伸び悩んでいる。
		窯業・土石製品製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・生産調整のため、お盆休みと称して連続8日間休みで、今月の稼働日数は18日間となっている。

	金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・産業機械のコンプレッサー、特装車両のコンクリートミキサー車共に順調な生産が続いている。1日当たりの生産が最大であるため、稼働日数が変わらなければ生産量も変わらない。
	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車関連の一部は夏休み返上でフル生産が続いたが、油圧機器、建設機械分野の仕事は動きが止まり、停滞感がある。業種によってばらつきが大きく、全体的に大きな変化はない。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・大手と結び付いた企業は比較的安定して順調だが、そうではない企業は細かい仕事を集めて何とか確保している。全体的に当社の周りの製造業は比較的安定している。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・東日本大震災関連の受注が一段落している。今年度、新機種関係の進捗が遅れ、受注の上乗せにつながっていない。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・8月は長期の夏休みが多いため若干落ちるが、5～7月はまずまずで、変わらない状況である。
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・取引先によると、オリンピック等による寝不足から栄養ドリンク、残暑による飲料水等の荷動きが例年より多少多く、良い状態である。また、保冷剤やクーラーボックス等の物量も荷動きが多少多かった。しかし、節約家電の代表である扇風機等は前年のような伸びもなく、全体的には例年並みの物量、輸送量である。
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・企業の景況感は二極化しており、海外需要を取り込み好調な企業と内需中心の企業との格差が拡大している。中小企業では厳しい受注環境が続いており、全体では足踏み状態が続いている。
	その他サービス業【情報サービス】（経営者）	受注量や販売量の動き	・特段の変化は見られない。
やや悪くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ニッパチは良くないと言われるように、売上がかなり減少している。9月は落ちたところの横ばいで、景気が何となく下がってきている。数字的にはまだ目に見えないが、感覚的には少し厳しい。
	その他製造業【宝石・貴金属】（経営者）	受注量や販売量の動き	・7、8月と売上は伸び悩み、低価格品の動きにも陰りが見られる。9月から秋冬用ジュエリーの展示会シーズンが始まるが、暑さの影響で仕入意欲が減退している。
	不動産業（経営者）	競争相手の様子	・当社と同様に、設備投資が難しく古い機材を使い続けている様子が見られる。赤字の所も切れず、黒字の所から補ってんして維持している現場も多いとの話も耳にしている。
	不動産業（管理担当）	受注価格や販売価格の動き	・オーナーからの維持管理にかかる費用は変わらないが、追加で一緒にやって欲しいという作業を言われることが多くなっている。それは飲まざるを得ないため、実質的に作業内容は増えても売上が横ばいということが増えている。
	広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・地元企業の折込広告、宣伝が減っている。
	新聞販売店【広告】（総務担当）	取引先の様子	・今月のチラシ出稿量は前年比96.5%と、6月以降3か月連続で前年の東日本大震災以降の復活し始めた時期を下回っている。枚数の削減やサイズの縮小等が顕著となっており、前々年比でも前月に続き下回っている。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・観光・宿泊関連、食品関係を主とする消費財関連、建設業、下請製造業、広告関連としての印刷業等、いずれも業績が振るわない。
	社会保険労務士	取引先の様子	・天気が良い日が多かったが、夏祭りや各種イベントなどでは思ったより客数が戻っていない所が多い。
悪くなっている	食料品製造業（製造担当）	取引先の様子	・前月から来月にかけて、スーパー等5店舗が閉店する。本当に体力勝負で、安売りしている所はやはり財務内容が良くない。単価を上げると客に買ってもらえないという恐怖心から脱却し、自信を持ってサービスで勝負しなければ、ますます倒産企業が増え、連鎖倒産しかねない。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ごくわずかの受注はあるものの、状況は低迷する一方である。

		輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注量はそこそこいっているが、販売価格が非常に落ち込んでおり、コスト低減が非常にきつくなってきている。電気料金の値上げに伴いコストが目に見えるように高くなってきているため、収益が大幅に悪化している。
		建設業（総務担当）	それ以外	・公共工事主体で土木、舗装工事を行っている。受注高は前年比99%と同額だったが、2年工期の物件が2件あるため、決算時の売上が心配である。また、前年の東日本大震災の影響で工期が遅れた物件もあったため、決算の数字も心配である。
雇用 関連	良くなっている	—	—	—
(北関東)	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・今月は食料品、食材関係が多く見られ、その内容は販売、営業、加工の募集である。製造関係では自動車部品関係の一部で活発さが募集の中に見られた。依然として介護関係のサービス業務での募集は出てきているが、住宅関連は厳しい。
		人材派遣会社（管理担当）	求人数の動き	・コンビニの冷やし麺類が売れて派遣求人数が増えている。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・窓口を訪れる求職者の状況を見ると、倒産、人員整理等の事業主都合による離職の減少が主な要因で、離職者数が前年比減少を続けている。
変わらない		人材派遣会社（経営者）	雇用形態の様子	・10社ぐらいの客のうち、1社だけが非常に忙しく、あとの会社はほとんど変わらない。
		人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・東日本大震災後のため前年の状況とは比較にならないが、平成22年と比較すると、ある程度宿泊施設関係が持ち直してきている。しかし、景気が良いというほど持ち直している状況ではないようである。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・前年同月比で有効職者数は減少し、有効求人数は増加しているが鈍化傾向にある。円高等の影響もあり、求職者の希望する製造業の正社員求人ほとんどなく、厳しい状況となっている。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求職者は若干の減少傾向であるものの、求人についてはほとんど変化がない。
やや悪くなっている		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・労働者派遣法の改正で、派遣先の派遣離れが起きている。
		求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・夏季でサービス業のパート、アルバイトの求人は多いものの、特に正社員募集は全業種を見ると少なく、求人は低迷している。
		学校〔専門学校〕（副校長）	周辺企業の様子	・採用予定がないのか、高学歴の学生の採用を予定しているのかは分からないが、例年採用予定のある企業でも企業実習等の受け入れもしてもらえない。特に高校生の求職者に厳しい状況である。
	悪くなっている	○	○	○